

修士論文指導教員一覧



小國 和子 教授

リサーチテーマ「開発と文化」担当

E-mail : oguni@n-fukushi.ac.jp

経歴

2003年、千葉大学大学院博士課程修了。博士（学術）。専門は開発人類学。2003年から2006年までJICA専門家としてカンボジア派遣。2008年4月より本学赴任。国際開発学会理事。2017年度より国際社会開発研究科長および専攻長。

関心分野

1. ローカルな農村社会開発・農村生活改善・開発における人々の参加、2. 開発実践とフィールドワーク、3. ローカルな月経衛生対処 (MHM)、4. 外国人技能実習制度と国際協力、

業績

『月経の人類学』（共著）世界思想社（2022）、『職場・学校で活かす現場グラフィー ダイバーシティ時代の可能性をひらくために』（共編）明石書店（2021）、『実装と感情 開発人類学の新展開』（共著）春風社（2015）、『支援のフィールドワーク』（共編）世界思想社（2011）、『開発援助と人類学』（共著）明石書店（2011）、『開発と農村』（共著）アジア経済研究所（2008）、『テキスト社会開発』（共著）日本評論社（2007）、『村落開発支援は誰のためか（オンデマンド版）』（単著）明石書店（2006）ほか、多数の論文がある。

<論文指導した院生の修士論文題目（抜粋）>

- ・在留ネパール人の集住化と子どもの教育環境に関する一考察—栃木県栃木市を事例として—
- ・住民主体の開発プロセスに向けた援助事業アプローチの課題と可能性 —マラウイ COVAMS プロジェクト事例から—
- ・セネガル初等教育における情操教育の検討 —ローカライズされた持続可能な授業への転換—
- ・ローカルな文脈におけるリプロダクティブ・ヘルズ改善—西ネパール山岳部における女性コミュニティ・ヘルス・ボランティアを事例として—
- ・実践者の生活から捉える先住民文化 —グアテマラの生活向上事業における織りの活用事例から—



久野 研二 客員教授

リサーチテーマ「障害と開発」担当

E-mail : Kuno.Kenji@gmail.com

経歴

2006年、英国 University of East Anglia（博士課程：開発学）修了（学術博士）。JICA 専門家などとしてマレーシアで15年、インドネシアで3年、短期でアフリカや中南米、中東を含む国々で「障害と開発」に関わる。2008年より国際協力機構・国際協力専門員（社会保障、主に障害と開発）。2004年より本学非常勤講師（「障害と開発」担当）。障害平等研修フォーラム（NPO 法人）代表理事。

関心分野

1. 「障害と開発」、2. 地域社会に根ざしたリハビリテーション（CBR）・地域社会に根ざしたインクルーシブな開発（CBID）、3. 障害平等研修

業績

著書『社会の障害を見つけよう：一人ひとりが主役の障害平等研修』現代書館（編著：2018）、『ピア・ボランティア世界へ』現代書館（編著：2012）、『Doing Disability Equality Training』MPH Publishing（単著：2012）、他論文など多数。

<論文指導した院生の修士論文題目（抜粋）>

- ・障害児の学校教育のアクセシビリティをめぐる～ガーナ共和国ボルタ州における事例研究～
- ・物乞いをする女性障害者の選択と自由：ダカール路上のライフストーリーにみる生計戦略
- ・障害児を巡る学校の役割：タイ都市部における事例研究

